

# Datapath x4

小型外付けボックスタイプのスタンドアロン・ビデオウォール・コントローラ



Datapath x4 は 1 系統の DualLink DVI 入力画像を分割して切出し、最大 4 台の出力モニタに、それぞれ個別に拡大、回転、ギャップ調整を加え出力できるスタンドアロンのウォールコントローラです。主な使用例として、1 系統の入力 (DualLink DVI、SingleLink DVI もしくは HDMI) を最大 4 台のモニタ (DVI もしくはアナログ RGB) に出だし、4K 解像度にアップスケールすることができる、納得できる価格の小型・外付けボックスです。ホスト側に複雑なソフトウェア操作が必要なく、x4 を接続するだけで複数モニタに好みのビデオウォールを実現できます。

最初に、Datapath x4 は入力画像から任意のエリア (最大 4 エリア) を指定して切出し、最大 4 台の出力モニタに DVI またはアナログ RGB フォーマットで出力します。切出された画像はフレームレートが変換され、それぞれ任意にアップスケールを行うことができます。出力解像度とフレームレートは、入力と一致している必要はありません。さらに、それぞれの出力は個別にミラーリングや、90°、180°、270° の回転を加えることができ、ポートレイト (縦置モニタ) やランドスケープ (横置モニタ) を混合したクリエイティブなビデオウォールを容易に構成することができます。ユーザシステムに x4 を複数台接続することにより、さらに 6、8 画面+のビデオウォールを形成できます。

- 対応入力信号 : Dual Link DVI, Single Link DVI もしくは HDMI (DVI/HDMI アダプタ使用)
- 1 つの入力画像から最大 4 台の表示出力に対応させるクロッピング (画像の切出し) 機能
- 入力画像の任意の選択されたエリアから最大 4 台のモニタへ出力
- DVI もしくはアナログ RGB 出力モニタのサポート
- あらゆるタイプのモニタへの対応 : モニタに表示される画像のベゼルと高さを設定可
- 画像のオーバーラップによるプロジェクション時のエッジブレンディング
- EDID はプログラマブルのため、任意の入力解像度とフレームレートの正確な設定が可能
- 完全スタンドアロンボックス : 入力解像度および出力モニタのネイティブ解像度の自動検出と、一旦設定された出力画面構成は内部メモリに保存
- 出力画面構成は外部 PC から USB 経由で設定
- 提供されるソフトウェアによる入力画像の切出し、出力時の拡大・縮小・回転・ギャップ調整
- 複数の X4 を接続し、さらに大きくそしてクリエイティブなマルチウォールを実現

筐体サイズ	235 x 175 x 44mm
動作温度範囲	0 - 35 °C
消費電力	5V DC, 11W. ユニバーサルメインパワーアダプタ (AC100-240V 入力).
冷却	内部ファンによる冷却
1 系統 Dual link DVI キャプチャ	最大 330Mpixels/s.
最大入力解像度	4k x 4k
4 系統 Single link DVI とアナログ RGB 出力	最大 165Mpixels/s
出力モニタ解像度	2.5Mpixel (最大 2048 pixels) ホリゾンタルおよびバーティカルの両方
任意のアップスケーリング (拡大)	オリジナル画像から切出されたエリアの 64 倍まで
ソフトウェアによる設定	USB port (USB 2.0) 接続により、外部 PC から出力画面構成の設定と更新

## 機能

### クリエイティブな出力モニター構成

マルチウォールを形成するそれぞれの出力モニターには、入力 DVI 画像の中から任意の指定サイズで切出されたエリアが表示されます。

ソース画像から切出した後、出力のための拡大、回転、ギャップ調整と入出力のフレームレート変換はすべて x4 ハードウェアが独自に行います。

切取られたそれぞれの画像は出力の際、画像間で継目なく折り返すためオーバーラップ設定ができます。また、これらのソース画像を自由な組合わせで例えば、異なるモニターオリエンテーション（縦、横置）の組合わせや、非対称のギャップ調整を行い自由に出力画面構成のアレンジを行うことができます。

（下記画面構成参照）



入力画像を x4 で 4 つの画像に切出し 2 台の横置モニターと 2 台の縦置モニターに 90° 180° もしくは 270° の回転を加え、横置モニターと縦置モニターに表示出力した例

### 簡単な出力画面構成の設定

x4 は、入力の設定と任意の出力画面の構成を USB 接続により、外部 PC から簡単に設定することができます。一旦設定が終わると x4 はそれ以降外部 PC を切り離れた状態で、独自にスタンドアロンで動作します。

x4 はこの状態で入力解像度の自動検出を続けまた、出力モニターの画面構成を設定されたスケーリングを常に保ちながら、モニターに出力します。

### Gen-Lock

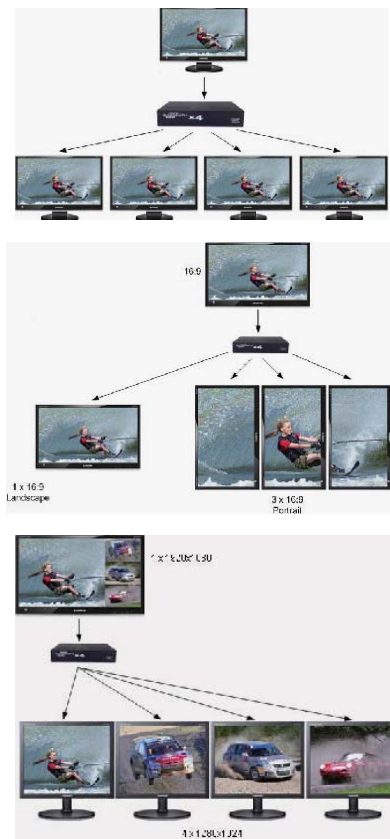
Datapath x4 は、入力と出力のフレームレートを自動検出し、genlock を自動的にかけることができます。4 個の出力モニターはそれぞれが自動的に genlock されます。そしてもし入力のタイミングがマッチした場合にはそれらはソース信号に対して（追加的に）genlock と clock-lock されます。

## Dual-Link DVI 高解像度入力のサポート

Dual-Link DVI は高解像度で pixel-perfect な表示をサポートする入力ソースです。Datapath x4 はこの入力ソースに対しフレームレートを減少させた際においても、Dual-Link インタフェースを保ちながら高いカスタム解像度を維持するためデフォルトのネイティブ解像度を提示できます。ほとんどの標準的なグラフィックスボードの出力ソースはこのネイティブ解像度をサポートしております。x4 は 3 個のバッファを持つ映像キャプチャ・アーキテクチャを使いスケーリング（拡大）とフレームレート変換を行うため、出力モニターに合わせたフレームレートと解像度で表示出力が行われます。



### ビデオウォール構成例



国内販売元 :



株式会社ソリューションシステムズ

さいたまオフィス :

333-0801 埼玉県川口市東川口 5-10-40

TEL:080-2265-7157 FAX:048-294-0370

www.solution-systems.com/screen/datapath

東京オフィス : 東京都文京区本郷 2-25-1

販売代理店